



谷 勉
や つとむ
すみ 角

問

スキー客誘致へ、積極的な誘客活動を

答

冬に向けての誘客活動に積極的に取り組む

問 湯沢の資質は、積極的な誘客活動で地域間競争に勝てる。

答 冬に向けての誘客活動に積極的に取り組む。

特別予算2,800万円を計上し、主に家族連れをターゲットにイベントやパブリシティー(無料)広告を活用しタイムリーに効果的に展開する。
【提言】宣伝広告費が当初予算の2,600万円では少なすぎる。来年度は、22年度の入湯税収入9,600万円位は予算計上すべ

きである。

問 民宿・ペンションを対象としたトップセールスの進捗状況は

答 まだ成果に結びついていないが、東京都のある区に子供達とスキー交流を提案している。今後も積極的にトップセールスを行っていく。

問

観光施設の整備改修を図るべきである

”四季を通じて、また訪れたいなるまちづくり“の重点戦略として、観光客が安全かつ快適に過ごすことができるよう、サイン等の整備改修や観光資源の整備を掲げているが、次の件の見解は。

問 ”花の郷“は雑草だらけで、悪評をかかっている。

答 諸事情により規模は縮小するが多くの人が訪れる場所であり、今後は植栽や草刈を行い、花の郷にふさわしいように景観の向上を図る。

問 大源太湖の遊歩道の案内板が劣化し読み取れない。

答 大源太湖は多くの観光客でにぎあう場所であり遊歩道の整備等行っているがサインや周辺マップの整備を紅葉シーズンまでに改修する。

問 北テニスコートは劣化が激しくプレーに危険な状況にある。

答 中央公園の施設はいずれも経年劣化が激しく計画的に整備する予定である。テニスコートは27年度の予定だがお客様に迷惑がからないよう検討する。

問 ますどまりの利用人数が

8月13日11時から14時まで227人だった。時々10人程度並び、清掃は一度もなく不衛生きわまりなく、観光立町の姿勢が問われている。



▲ますどまり



▶ますどまり仮設トイレ



▲大源太湖案内板



▲劣化テニスコート

問

観光の促進は具体的な対策を戦略的に

問 社会情勢もお客様のニーズも変化している観光の指針「湯沢町観光振興計画」を見直すべきである。

答 この10年で人の価値観も、旅行の形態も変わり、観光の在り方自体が変化しているのでもさに見直しの時期と考え指示をする。

問 法人格を取得した町観光協会の役割は。

答 お客様のニーズの把握や商品開発により湯沢のイメージアップのプロモーションを推進して欲しい。宣伝・広告活動や独自の事業展開により今以上の自主独立の活動を期待する。